

青木線の上田駅発着の終便の見直し（回復）について

1 概要

令和6年4月に終便の時刻が繰り上げされた鹿教湯線と青木線の終便時刻（20時台に上田駅を発着する終便）の回復について、地域公共交通利便増進事業の最重要課題として位置付け、両路線を運行する千曲バス株式会社様と継続して協議を行った結果、鹿教湯線に続き、青木線において令和8年10月1日から回復が図られることになったもの

※令和6年4月からの上田駅発着の終便時刻の変遷

路線名	令和6年4月1日	令和7年10月1日 (利便増進事業開始)	令和8年4月1日	令和8年10月1日
鹿教湯線	18時47分	20時00分 (増便対応)		
青木線	19時29分		19時55分 (時刻延長)	21時00分 (増便対応)

2 主な経過

年 月	内 容
令和5年12月	働き方改革の影響などに伴い、各社から路線バス減便の申し入れ
令和6年3月	令和6年3月議会において、当時の市民建設委員会から、市民の交通手段の確保及びバス運転手の確保対策に係る附帯意見
令和6年4月	鹿教湯線及び青木線の終便時刻の繰り上げ
令和6年4月以降	御意見等を踏まえ、国土交通大臣が認定する地域公共交通利便増進事業に取り組むこととし、両線の20時台に上田駅を発着する便の復活を最重要課題に位置付け、千曲バス株式会社様との協議を定期的に行っていく。
令和7年10月以降	利便増進事業の開始により、鹿教湯線の終便の回復が実現。しかし、青木線は実現せず。令和8年4月時点においても回復には至らず。

3 参考：上田市・青木村地域公共交通利便増進実施計画における記載

⑧ 鹿教湯線【運行主体 千曲バス株式会社】

（路線の特徴 市内最大の利用がある路線であり、特に通学利用が多い。朝夕は非常に混雑）

ア 増便

- ・ 20時台に上田駅停留所を発車し、丸子駅停留所を終着とする便の回復

イ パターンダイヤ化 略

ウ ゾーン制運賃の導入 略

⑨ 青木線【運行主体 千曲バス株式会社】

（路線の特徴 通学・通勤利用が多い。青木村から上田駅に至る唯一の幹線）

ア 増便（令和8年4月1日実施で調整）

- ・ 20時台に上田駅停留所を発車し、青木ターミナル停留所に至る便の回復

イ 自家用有償旅客運送から路線バスへの転換

- ・ 20時台の便の回復に伴い、青木村が運行する自家用有償旅客運送（時間空白）を路線バスへ転換（運行情報の一元化によるわかりやすさ、上田市域の停留所の停車の回復）

ウ パターンダイヤ化 略

エ ゾーン制運賃の導入 略